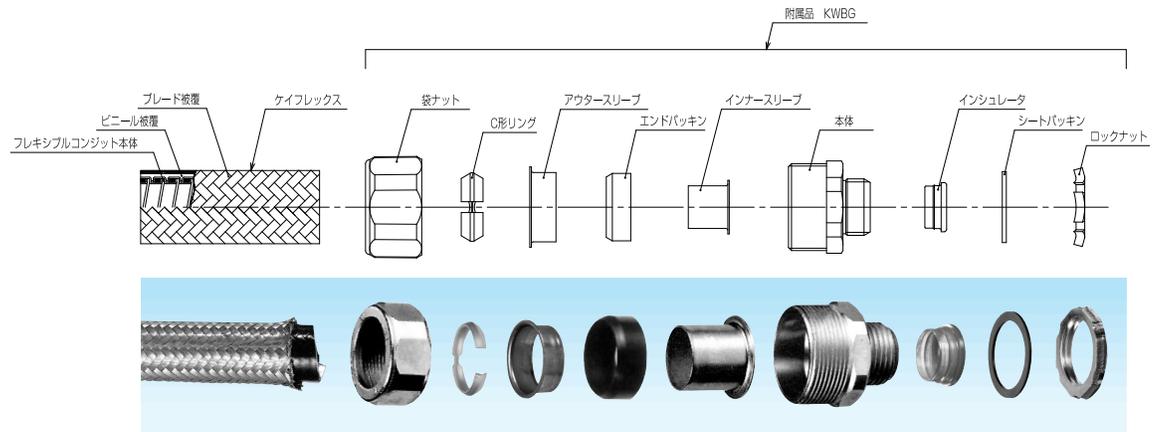


ケイフレックス Type KPFB (ブレード被覆ビニルフレキ) の施工は下記の要領を参考に行ってください。

### 1. ケイフレックス Type KPFB, 附属品 KWBG の部品構成

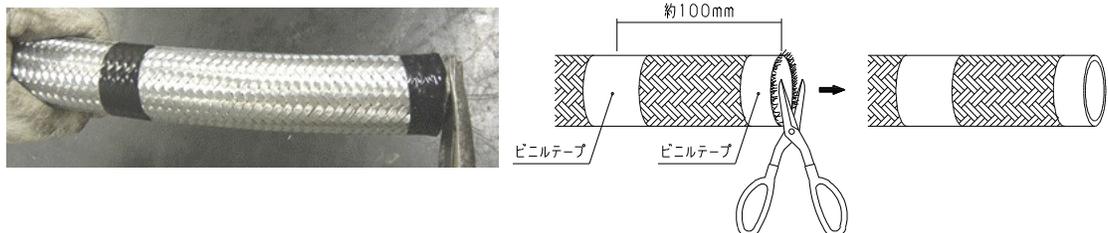


- ※ 特長
1. ブレード被覆タイプで防水構造です。
  2. 附属品とは電氣的に接続されている。

### 2. ケイフレックスを必要な長さに切断します。

#### ☆ 切断方法

- ① ケイフレックスの切断する部分と、そこから約 100mm 離れた部分にビニルテープ 2~3 周強く巻き付ける。(切断した際にブレードの広がり防止と、100mm 位置に巻くテープは、フレキのズレ防止のためです)
- ② 切断する部分のビニルテープの真ん中を高速カッター等で切断する。(切断は管軸に垂直にする)

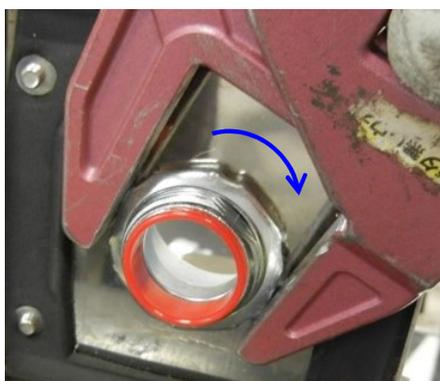
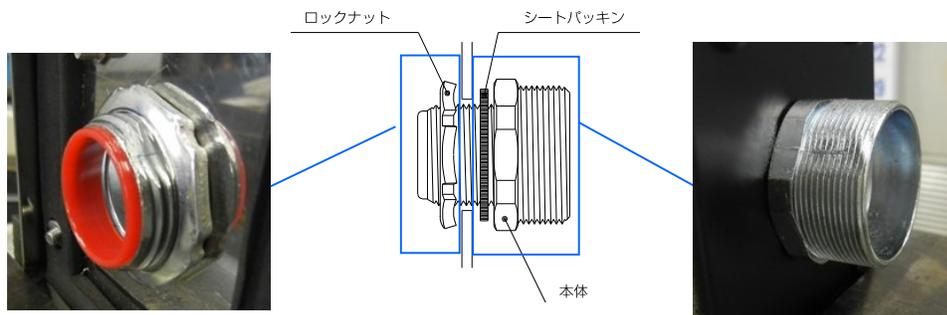


- ③ 切断部のビニルテープを取り除かずに、切断時に発生した内バリを万能ばさみできれいに整える。(切断部と 100 mm位置のテープは、まだ取らない)

☆切断時に発生したホコリ、キリコ等は、高圧空気又はハケ、ウエス等で清掃する。

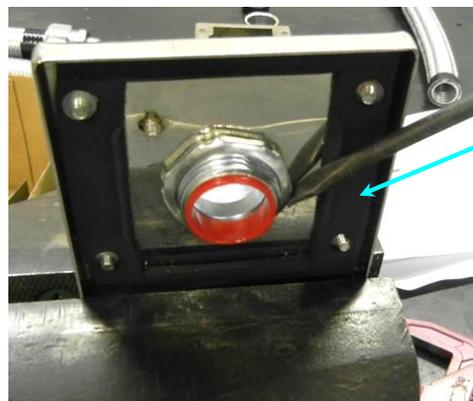
**3. 本体をボックス、機器等に取り付けます。**

☆ ボックスのロックアウトに接続する場合は、防水ためのシートパッキンを介してロックナットで確実に固定します。



締め付けの目安としては、手締め後 **90°** くらいまで工具で締め付けて下さい。

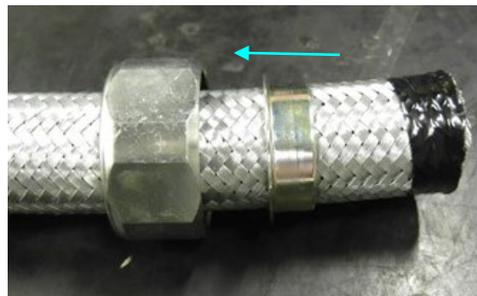
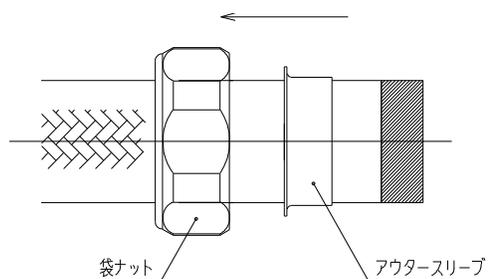
☆ ボックス内部のスペースが狭い場合は、マイナスドライバーなどでその先端をロックナットの角部にあてがい、ハンマーなどで叩いて、締め付けを行って下さい。



☆ 機器のハブに接続する場合も防水のためのシートパッキンを介して本体をハブにねじ込みます。

4. ケイフレックスに袋ナット、アウトースリーブを入れます。

☆ 袋ナット、アウトースリーブのケイフレックスへの挿入は方向性があります。

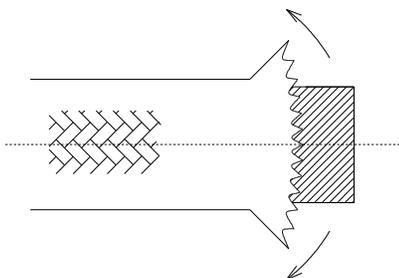


5. ケイフレックス端部の処理をします。

☆ ケイフレックス端部のビニルテープ（切断部）をはがしてブレードをひらく。  
(エンドパッキンが入り易いようにする為です)

※ブレードを処理する際は、必ず皮手袋又は工具等を使用して下さい。

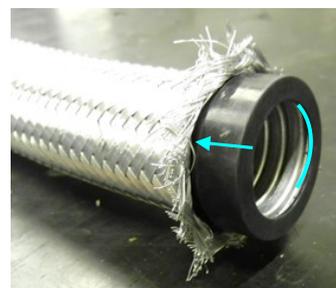
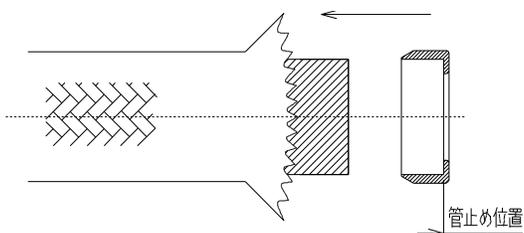
素手や軍手等で行うとケガをする恐れがあります。



6. エンドパッキンを入れます。

☆ エンドパッキンをブレード被覆とビニル被覆の間に挿入する。

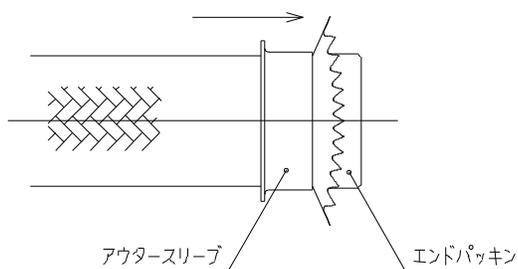
☆ 挿入は、エンドパッキンの管止め位置にケイフレックスの端部が当たるまでです。



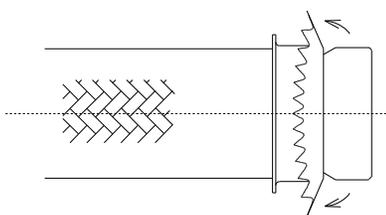
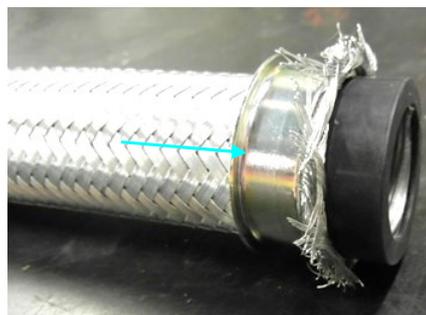
ケイフレックス端部が当たるまで、挿入する。

## 7. アウタースリーブをセットします。

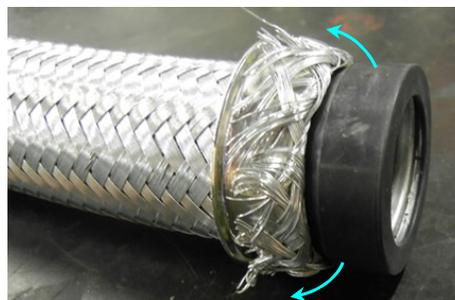
☆ アウタースリーブをエンドパッキン方向によせた後にブレードをアウタースリーブ側に折り曲げる。



①アウタースリーブをよせる。



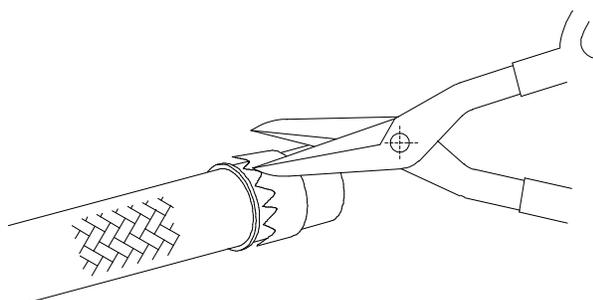
②ブレードを折り曲げる。



☆ ブレードの端部の長さを万能ばさみ等で揃えます。

※ アウタースリーブのツバの部分から出ないように長さを揃える。

※ あまり切り過ぎないように注意して下さい。折り返しが少なすぎるとブレードがはずれる危険があります。

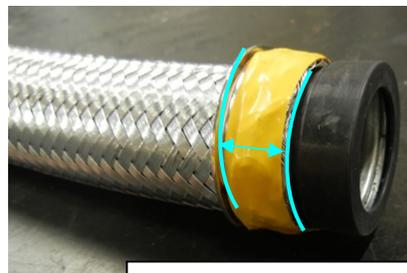
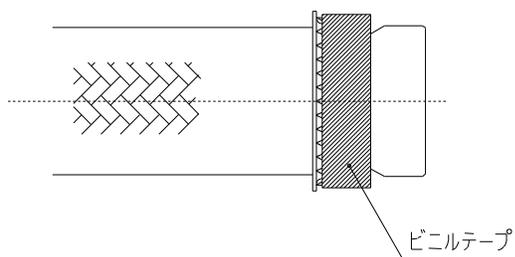


8. ブレードにビニルテープを巻く。

☆ ブレード端部がひろがらないようにビニルテープを巻き付けます。

(ビニルテープを巻くのは 10.の袋ナットを本体にねじ込み易くするためです)

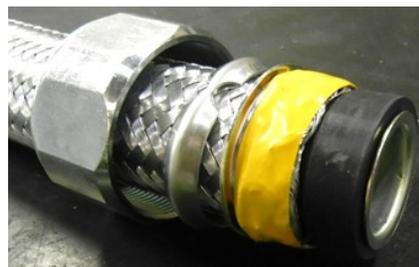
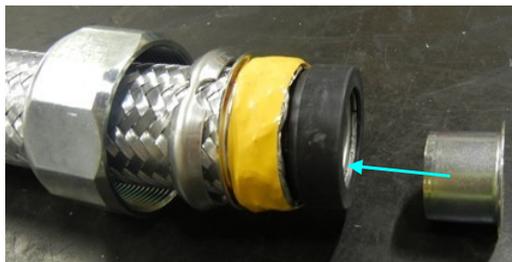
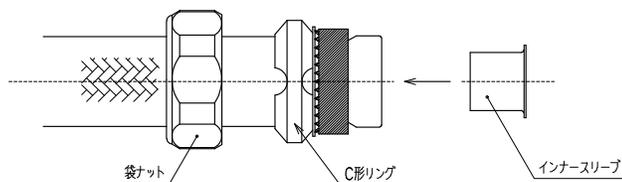
※テープを巻き付ける際は、テープ幅をアウトースリーブの幅に合わせて巻き付けて下さい。



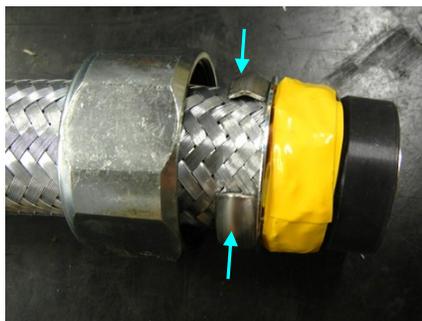
テープ幅をアウトースリーブ  
に合わせて巻き付ける。

9. インナースリーブを挿入し、C形リングを取り付けます。

☆ C形リングは、しっかりアウトースリーブに当てて、取り付けて下さい。

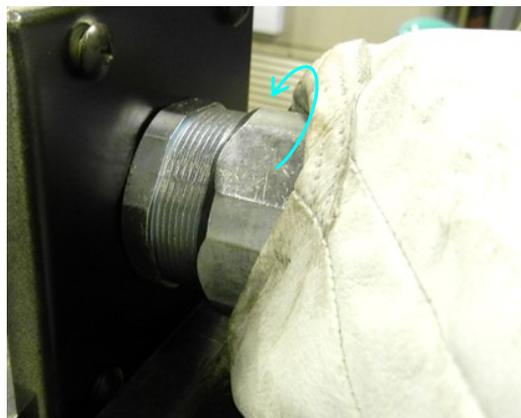
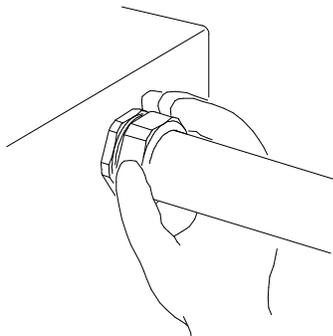


☆ C形リングは、必ずフレキ外径に密着するように、縮めて下さい。



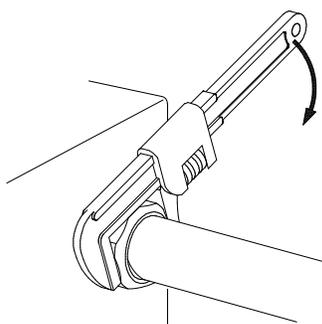
10. 本体にケイフレックスを仮止めします。

☆ あらかじめ、機器等に取り付けた本体に部品を取付けたケイフレックスを挿入し、袋ナットを本体に手でねじ込み仮止めします。



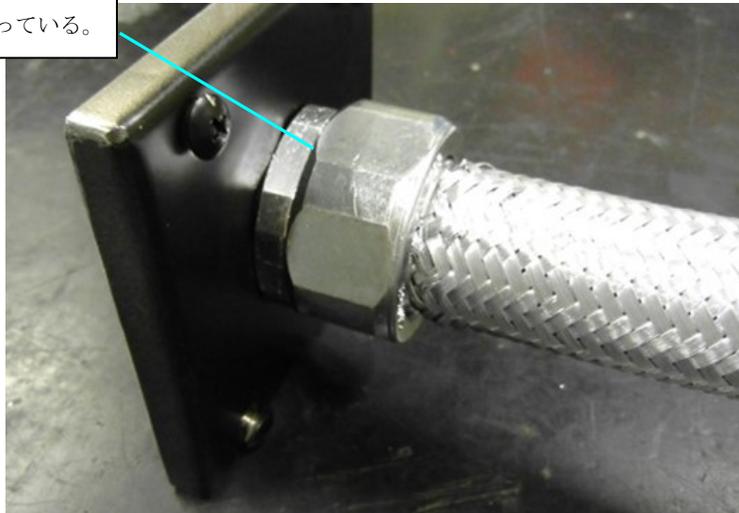
11. 袋ナットを本締めします。

☆ 袋ナットの締め付けは、モーターレンチ又は、チェーンツング等を使用して確実に締め付けます。袋ナットは本体フランジに当たるまで締め付けて下さい。



- ☆ 袋ナットが締め付け時の最初の時点で、キツく締め込みが困難な場合は、項目”9”の C リングがフレキに十分密着しておらず、干渉してしまっている可能性があります。その際は、一度袋ナットを外し、項目”9”へ戻り、再度 C リングをしっかりと縮ませてから袋ナットの締め付けを行って下さい。
- ☆ 袋ナットの締め付けで接続した機器に力をかけられない場合は、本体も工具を用いて押え、袋ナットを締め付けます。
- ☆ 最初に 100 mm位置に巻き付けたビニルテープをはがして下さい。

袋ナットが本体フランジに当たっている。



施工後の状態